

# ふくしまるっと 創業ストーリー

Le soleil(小売業・教育業)

こう ひろみ

神 裕美さん

創業時期：令和5年8月



～ 迷わずに“飛び込む”～

## 創業しようと思ったきっかけを教えてください

きっかけは、子どもが発した一言でした。私は幼少期にお花好きの祖母と同居しており、祖母の影響で多くの花に囲まれて育ちました。小学校の作文に「お花屋さんになりたい」と書くほどお花が身近な存在でしたが、大人になるにつれてその夢も徐々に薄れ、事務職として働く日々を送っていました。お花は変わらず好きだったので、趣味としてお花のレッスンを受け、お免状を取得し、休日に知人へレッスンをを行うようになりました。そんなある日、子どもから「ママって何屋さんなの？」と聞かれたことがありました。「お花の仕事をしているのか、事務の仕事をしているのか…」と自問自答した際、子どもに対して「夢を叶える大人の姿を見せたい」という強い思いが芽生えました。

また、学校の1/2成人式で夢を語る子どもたちの姿に感銘を受けたことも私の背中を強く押ししました。子育てという人生の節目で、自分の幼い頃の夢が再び繋がり、創業を決意しました。

## どのようにして出店場所を決めましたか？

当店は、設計事務所・カフェが併設された複合施設内にあります。当初は単独での出店を考えていましたが、たまたまInstagramで流れてきた「設計事務所の移転先で共同出店するカフェ経営者募集」の広告がふと目に留まりました。設計事務所のオーナーさんは、さまざまな人が出入りする複合施設を作りたいという構想があったようで、私は直感的に「設計事務所と植物も相性がいいはず」と感じ、思い切ってDMを送ってみました。オーナーさんは「面白いね」と快く受け止めてくださり、多業種が入居できる物件を一生懸命探し、現在の物件を見つけてくれました。

この形態で良かったと感じるのは、単独店舗では出会えなかったお客さまと繋がれることです。隣のカフェでコーヒーを待つ間にお花を買ってくださる方や、設計事務所での住宅相談と併せて新居に置くお花や観葉植物を注文される方など、心地よい相乗効果が生まれています。今ではこの施設の入居者全員が「チーム」のような感覚で、住宅の完成写真にお花を添える、コーヒーとお花のギフトセットを作るなどのコラボも行っています。

## オープン前にどのような準備をしましたか？

お花に関する知識はありましたが、経営や資金繰りは全くの素人でした。そこで商工会議所の創業スクールに通い、3ヶ月間基礎を学びました。創業スクールで得た知識はもちろんですが、一番の財産は業種を超えて同じ悩みを共有できる「創業を目指す同期の仲間」です。その仲間のおかげで孤独を感じずに準備を進めることができました。現在も繋がりが途絶えず、そこから依頼をいただくこともあります。

資金調達に関しては、先輩経営者のアドバイスから県の創業補助金の存在を知りました。福島駅西口インキュベートルームの中小企業診断士に一から指導をしていただき、連日徹夜で事業計画書を作成しました。大変な作業でしたが、無事採択いただくことができました。そのおかげもあり、日本政策金融公庫への融資申請用の事業計画書もスムーズに作成することができました。

自分一人で調べて悩むよりも、「教えてください」と各機関へ足を運んだことが、着実な一歩に繋がったのだと感じています。



## お店の強みや大切にしていることはありますか？

当店の強みは、自他共に認める「圧倒的な話しやすさ」です。お花屋さんに対して「花の名前を知らないと気後れする」「1本だけでは申し訳ない」といったハードルを感じている方が意外と多く、そのハードルをなくしたいと考えています。お客さまと会話をしながらお花を贈る相手や理由について伺い、お花に託す想いを一緒に形にしていく時間を何より大切にしています。

品質面でのこだわりは、お花の「常温管理」です。急激な温度差はお花を弱らせる原因になるので、夏場の温度管理は大変ですが、あえて常温に慣れさせています。そうすることで環境変化に強くなり、長く咲き続けてくれます。お客さまから「ここで買った花は最後まで元気」という声をいただくたび、このスタイルを貫いてよかったと実感します。

また、毎月季節のお花を用いてレッスンを開催していますが、技術やお手入れ方法だけでなく、生産者の声や想いを伝えることも大切にしています。実は、福島産の高品質な花の多くは都会へ出荷され、地元で見かける機会が少ないのが現状です。地元の生産者が丹精込めて育てたお花を、ぜひ地元の人に知ってもらいたいという思いから、私は生産者から直接お花を仕入れています。これからも1人でも多くの方に、福島のお花の魅力と楽しさを広めていきたいです。



## 創業を目指す方へ

創業を目指すとして一人で完璧にしなければと肩に力が入りがちですが、実際は市役所や商工会議所など、応援してくれるプロが周囲にたくさんいます。恥ずかしがらず「教えてください！」と飛び込んでみるのが、成功への一番の近道です。

また、自身の業種とは直接関係がなさそうな業種の方やコミュニティにも、積極的に関わってみてください。私自身、たまたま参加した経営者の集まりで生産者さんと繋がったり、創業スクールの仲間でIT業種の方に予約システムを構築してもらったりした経験があります。一人でできることには限界があります。「自分なんかが行っても」と躊躇せず、先入観を持たずに外の世界へ飛び込んでみてください。そこで生まれた繋がりが、思わぬ形で事業を支える大きな力になるはずです。

## 店舗情報

名称：Le soleil  
住所：福島市西中央2丁目115  
電話番号：090-2952-0870  
Instagram：@lesoleil.ko.flower  
営業時間：11：00～18：00  
定休日：不定休



## 神さんの“創業フレーズ”

#夢を叶える

#品質管理

#仲間との繋がり

#花に託す想い

《編集》福島市 産業雇用政策課 創業推進係  
電話 024-525-7658

福島市創業支援情報は[こちら](#) (市公式HP) →



## 神さんが活用した創業支援

-  (福島商工会議所) 創業スクール
-  (福島駅西口インキュベートルーム) 創業個別相談
-  (福島県) 創業補助金
-  (日本政策金融公庫) 融資
-  日本政策金融公庫福島支店 斎藤さんより  
初めてお会いした時、真夏の太陽に向かって咲くひまわりのような熱い情熱をお持ちの経営者と感じました。それは開業後も変わることなく、また新しい地域課題解決に向けて取組んでおられます。ぜひ一度足を運んでいただき、神さまとお花の話を楽しんでください。  
日本政策金融公庫は今後も福島市をはじめとした支援機関とともに創業を志す方を全力で支援してまいります。
-  (福島市) 創業応援利子補給補助金
-  (福島県) ふくしま小規模企業者等 いきいき支援事業